

第2回大和高田市立総合体育館建設基本計画策定委員会会議録

開催年月日 令和4年8月18日(木)

開催場所 大和高田市役所3F庁議室

出席者

(委員) 蓬田委員長、西川副委員長、正木委員、島田委員、龍委員、田中委員、作田委員、柳委員、杉田委員、生島委員、浅野委員、疋田委員、田中委員、小野委員

(事務局) 下村部長、村岡

次長、谷川課長、小川参事

三木、石井、小川、中井

内容 第2回大和高田市立総合体育館建設基本計画策定委員会

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 第2回委員会

○会議の成立の報告

○大和高田市立総合体育館建設基本計画の構成案及び策定委員会での検討・報告事項
事務局より資料1の説明

○大和高田市立総合体育館の建替の必要性和課題認識の確認
事務局より資料2の説明

○大和高田市立総合体育館の諸室の構成(機能構成)案について
事務局より資料3の説明

【質疑応答】

(委員質問)

武道館については、現状の大きさと比較するとどのように異なるか。

(事務局回答)

現状からすると、一面減っている案となっている。

(委員質問)

アンケートの案では、現状と同等の規模が良いという意見であったが、なぜ、小さくなっているか。

(事務局回答)

競技場などは同等の規模が確保されているが、ランニングコースなどについても

剣道場などももう一面確保できるか検討を進めているところである。

(委員質問)

バリアフリーについても意見があったが、エレベーターも設置するのか。

(事務局回答)

図面でEVとなっている場所がエレベーターである。

(委員質問)

エアロビクスなどのニーズがあったと思われるが、トレーニングルームについてはこの大きさが良いか。

(事務局回答)

サブ競技場を 480 m²に拡大しており、そちらで多様な利用をしてもらえればと考えている。

(委員質問)

プールの上にも、トレーニングルームがありこれの活用も合わせて検討してほしい。

(事務局回答)

連携しながら計画を進めていく。

(委員質問)

ランニングコースについてはどの程度の規模か。

(事務局回答)

2m+α程度は必要かと考えているが、観覧席との取り合いとなるため、今後、精査していく。

(委員質問)

現状の観覧席の席数はどの程度か。

(事務局回答)

1500名となっている。

(委員質問)

段数はどの程度少なくなるのか。

(事務局回答)

最大4段となる。

(委員質問)

アリーナはその分大きくなるのか。

(事務局回答)

観客席については、2階で想定しているので、競技場は、現状と同じくらいの大きさとなる。

(委員質問)

同程度の規模であれば、観覧席は大きく取れるのではないか。

(事務局回答)

観覧席のスペックも含め、今後、詳細に検討していく。

(委員質問)

次回の国体もバスケットボールが想定されるが、コート裏を1m～1.5m程度、広くすることはできるか。

ソフトテニスで利用する場合は、手狭となる。バスケットボールの場合も安全に利用するためには、余裕が必要である。

観覧席を2階に設置するのであれば、現状の規模より大きく確保することができるのではないか。

ソフトテニスについては、現状、2面しか取れないが、同規模で無駄なスペースを削減し、3面取れるようにしてほしい。

(事務局回答)

ソフトテニスについては、コートから3mの距離を確保しており、3面取れるよう計画している。

(委員質問)

3mは最小限の数値であり、ラケットなどが壁に当たらないよう、コートの後ろに余裕を設けてほしい。

(事務局回答)

承知した。今後の人口減少や財政の逼迫状況、公共施設総合管理計画等の内容を踏まえ、コンパクトな施設を指向する必要があると認識している。

(委員質問)

サブアリーナの高さが低く、球技で使用することが困難である。今後、バトミントンなども利用できる高さにすることは可能か。

(事務局回答)

可能であると考える。

(委員質問)

どのような競技ができるか。

(事務局回答)

現状、卓球が3卓、バトミントン1面が入るような規模を想定している。

(委員質問)

武道館は移設しないのか。

(事務局回答)

武道館の存続については、今後の議論である。機能としては、総合公園に移設する予定である。

(委員質問)

柔道場・武道場については、他の競技もできる多目的な仕様で検討いただきたい

い。

(事務局回答)

武道場については、板張りになるため多目的な使用が可能である。壁面に鏡を設置することでダンスなどの利用も想定される。

(委員質問)

国体を想定したとき、750席で足るかを検討しておく必要がある。今年度の国体の集客状況なども踏まえ検討されたい。ランニングコースなどの必要性も再度、見直されたい。現状の施設は、非常に狭い。

また、事務局案については現状の体育館を移設しているだけのように見える。新体育館の目玉は何か。この施設は大和高田市のレガシーになるか。

(事務局回答)

この体育館で、どこを重視するのか。計画にあたり、取捨選択が必要である。何を大事にした施設とするのかをご意見いただきたい。バスケットボールが重要なのであれば、他の競技については少し我慢しようかなどといった議論ができるとよい。

(委員質問)

9月に都市計画課に新体育館の面積等を報告いただくことになっている。具体的な用途・面積を決めた上で、PFIなど整備スキームの検討に入る必要がある。国体が去った後は、維持管理が大変になる中、何を大事にするかをこの場で共有しておきたい。ある程度プランが定まったら、民間事業者にどのようなことができるかといったヒアリングをしていきたい。現状のプランでは、相撲場が削減されているが、それで良いのかなどを検討すべきである。

(委員質問)

トレーニングルームについては、どのような室になるのか、機器などの設置があるのか。

(事務局回答)

現状のトレーニングルームについては、機器など設置している。近年はライトなトレーニングを行う者も増えているが、今後もニーズがあると考えている。

(事務局回答)

予算がある中でどこかを削減しなければいけないが、国体を想定した中で、中途半端なアリーナを作れない。今回のプランでは、子供保育室、健康相談室が特徴となっているが、この辺りの必要性を意見いただけると良い。

(委員質問)

ママさんのバレーなど子連れの利用もあるが、子供保育室については、現状の半分でも問題ないと思う。健康相談室についても、半分程度で運用が可能であると考えられる。

(委員質問)

駐車場の件について、駅から離れることになるが、交通の集中などへの対応について、説明をお願いしたい。

(事務局説明)

参考資料 1、2 を説明

(委員質問)

128 台というのは、確保可能か。

(事務局回答)

お見込みの通りである。

(委員質問)

住民の視点から意見を述べたい。何を優先するのかを問われたが、基本的には市民が楽しく利用できる施設を目指してほしい。バスケットはものすごく流行っているが、その辺りは市の方で対応を検討いただき、市民が楽しく利用できることを優先いただきたい。

(委員質問)

意見の漏れがあれば、改めて事務局にお伝えください。

○その他

(事務局)

都市公園が浸水想定区域に指定されているため、地盤高を高くするか、ピロティを設けるなどの対策をしなければ避難所としては利用できないといった状況である。

(事務局)

今回は、11 月を想定している。

4. 閉会